

TOYOTA ATHLETES

YEAR BOOK

2024

Content

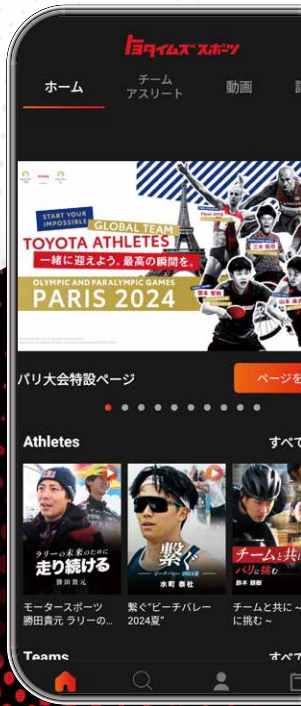
行動指針	2
トヨタとスポーツの歴史	3-4
運動部一覧	5-6
トヨタスポーツセンター/活動拠点	7-8
トヨタスポーツ新プロジェクト	9-10
ラグビー部	11-14
硬式野球部	15-18
女子ソフトボール部	19-20
陸上長距離部	21-22
女子バスケットボール部	23-24
スケート部	25-26
ビーチバレーボール部	27-28
トップアスリート	29-30
トップパラアスリート	31-32
アスリートインタビュー	33-34
アスリート支援の取り組み	35-36
次世代・地域社会・職場への取り組み	37-38

トヨタアスリートの全てを発信する

トヨタ スポーツ

公式アプリ

アプリダウンロードはこちらから



■ Our Vision

スポーツが持つ力を信じ、 スポーツを通じて豊かな社会の実現を目指す

すべての人が自分自身の不可能に挑戦することができる 開かれた社会の実現

世の中に存在する様々な違いを個性として受け入れ、お互いに尊重し合うことができる豊かな社会の実現

■ Our Mission

1人ひとりがトヨタらしさを体現し、 人間味溢れるリーダーになる

■ トヨタアスリート行動指針

地域・ファン・従業員のみなさまに勇気・感動をお届けし応援される存在になるために、

1人ひとりがTOYOTA ATHLETES 5つの精神を体現し続ける

TOYOTA ATHLETES 5つの精神

- ルールを守り、正々堂々と戦う「フェアプレー」の精神
- 自分以外の誰かのために戦う「フォアザチーム」の精神
- 泥臭く、粘り強く最後の最後まで戦う「ネバーギブアップ」の精神
- 負ける悔しさを知っている者だけがもつ「負け嫌い」の精神
- 自分達を支えてくれる全ての人に対する「報恩感謝」の精神

世界一・日本一を目指し
「TOYOTAの看板」を背負って日々闘い
共に闘う仲間(従業員)を鼓舞

常に「謙虚・感謝」の気持ちを忘れず
競技・お客様と向き合うことで
勝つ喜びだけでなく
負ける悔しさまでも共有

スポーツを通じて得られた
「人間力」を活かし
競技引退後も組織に貢献

運動部の闘う姿に、クルマづくりに格闘する 自分達の姿を重ね合わせていた。



1937年 陸上部創設時



1943年 女子ソフトボール創設時



1941年 ラグビー部創設時



1962年 女子バスケットボール部創設時

トヨタとスポーツの歴史は、トヨタ創業の年に遡ります。会社が設立された同年に「陸上部」が創設されました。

会長の豊田章男は、80年前に創業者 豊田喜一郎が、自動車部とともに運動部をつくった理由として、

「もっとよくするために決してあきらめない『ネバーギブアップ』の精神、仲間のため、自分以外のだれかのために闘う『フォア・ザ・チーム (For the Team)』の精神。先人たちは、運動部の闘う姿に、クルマづくりに格闘する自分達の姿、なにより『トヨタらしさ』を重ね合わせていたのではないのでしょうか」と語ります。

その後の数年で多くの運動部が設立されました。当時、各運動部の目標は国体や実業団の各大会でありましたが、トヨタグループ各社においても次々と運動部が設立されたことを受け、1951年にはグループ各社対抗で競い合う『全豊田総合競技大会』が始まりました。(同大会は95年まで継続)年1回スポーツを通じグループ各社が交流し、グループの一体感を作る貴重な機会となっていきました。トヨタの企業としての成長には常にスポーツが寄り添っていたのです。

決してあきらめない姿に勇気づけられた。

2011年、東日本大震災、タイでの洪水被害とトヨタにとって本当に苦難と試練の年でした。

会長の豊田章男が事態の収拾に奔走する中、女子ソフトボール部は、日本リーグ2連覇をかけ決勝を闘っていました。延長戦に入り相手に先制を許してしまった時、豊田は「負けたかな。どんな言葉をかけてあげようか。」と考えていました。しかし、そこから劇的なサヨナラ勝ち。豊田は、「ベンチの選手、スタッフ、応援団、観客がチームの勝利を信じて、決して諦めることなく声援を送り続けていたことが、たまたま嬉しかった」、「当時、会社が厳しい状況で闘っている時だったからこそ、決して諦めない姿に勇気づけられた」と当時を思い語っています。

重なる困難に立ち向かう中、「TOYOTA」の文字を胸に会社を背負って闘うチームの姿は、従業員を奮い立たせ、あきらめずチャレンジすることを促す「力」を持っていたのです。

スポーツを通じた平和で差別のない社会づくり。

2015年トヨタは、国際オリンピック委員会及び国際パラリンピック委員会と、2017年にはスペシャルオリンピックスとグローバルレベルでのパートナー契約を締結しています。

オリンピックの「友愛」、「人間性尊重」、「求道」、パラリンピックの「勇気」、「強い意志」、「インスピレーション、公平性」、そしてスペシャルオリンピックスの「それぞれが持つ違いを個性として、互いに尊重し合う、すべての人に開かれた垣根のない世界を」という活動理念。これらの理念は、トヨタの企業風土、「カイゼン」や「人間性の尊重」に共感するところが多くあります。

スポーツが持つ力「チャレンジ」「ネバーギブアップ」、「チームワーク」、「リスペクト」は、トヨタが大切にしてきた価値観そのもの。

世界中でアスリートが日々強い意志と忍耐を持って挑戦し続けているように、トヨタは「スポーツを通じた平和で差別のない社会づくり」、「モビリティを通じた持続可能な社会への貢献」を目指して挑戦し続けていきたいと思います。

Start Your Impossible !

1937

トヨタ自動車工業 創業



AA 乗用車

'50 労働争議

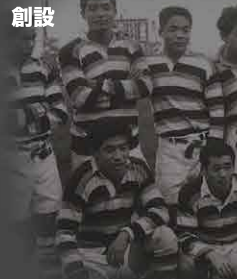
'51 全豊田総合競技大会開始 (～95年)

1955

陸上長距離部創設
トヨペット クラウン発売

初代カローラ発売 '66

1962

女子バスケットボール部
創設

1967

スケート部創設

1968 ラグビー日本選手権
初優勝

1969

応援団創設

衣浦工場

稼働開始

'78

田原工場 稼働開始 '79

自動車工業、自動車販売 合併 '82

インターコンチネンタルカップ開始 1984

(FIFAワールドカップ) ～2014年イソポナー

TOYOTA ATHLETES HISTORY



- 1937 陸上部 創設
- 1938 柔道部 創設
- 1939 サッカー部 創設
- 1941 ラグビー部 創設
- 1946 男女バレーボール 創設
- 1947 硬式野球部 創設、社内駅伝大会
- 1948 女子ソフトボール部 創設

スポーツは万国共通で調和をもたらし、相互に理解する役割を果たしてくれる。

1950年代にはトヨタは海外への進出を始めます。事業がグローバルに発展する段階において、世界で働く従業員の一体感をいかに作り上げていくかは、大きな課題となっていました。元名誉会長である張富士夫は、かつてスポーツが果たす役割を以下のように述べています。「世界が急速に変わっていく中、スポーツは、万国共通で調和をもたらし、相互に理解を深める役割を果たしてくれると感じます。スポーツは、アスリートだけでなく、応援をするサポーターの士気も高め、また地域社会との交流を深めることにも役立ちます。日々新しいチャレンジをする中、スポーツによって我々は団結し、より高い目標に向けて頑張ることができます」従業員の一体感を醸成していくのに、スポーツはなくてはならないものになっていきました。



1969年に誕生した応援団。当初野球部の応援を目的に結成されましたが、現在ではあらゆるスポーツの応援に駆けつけています。「トヨタの代表として競技をする選手は仲間＝家族。家族が頑張っているのを同じ家族として応援をする。応援団だけでなく、みんなが一体となって応援を行うこと」これは、彼らが設立以来大事にしている伝統。一緒になって応援をすることを通じ家族のような結束を持つ職場づくりにつながっているのです。

一体感があれば、危機の時、みんなが一音に対応できる。

1951年から毎年開催されている「社内駅伝大会」。(2023年まで75回開催、2020～21年は新型コロナの影響で実施見送り)毎年12月にトヨタスポーツセンターで実施されるこのイベントには、多くの従業員やその家族、遠く海外から海外事業体のチームも参加します。参加した選手全員が、仲間に「たすき」をつなぐため、最後の力を振り絞る。応援に駆け付けたメンバーが、声を枯らして、職場の仲間に精いっぱいの声援を送る。そこには「自分以外の誰かのために」頑張る姿があります。

トヨタのある幹部はこう語ります。「いろいろな職場の同僚と一緒に戦い、応援するという一体感は貴重です。一体感があれば、危機の時、すぐにみんなが一音に対応できると思います」トヨタが大事にする、「チームワーク」、「フォア・ザ・チーム」の精神を職場だけでなくグローバルトヨタが一体となって体感する、大切な社内行事となっています。

- '58 海外進出
(ブラジルでの生産開始)



- '97 初代プリウス発売

- 2004 谷亮子選手金メダル獲得



2004年 谷亮子選手金メダル

- '08 リーマンショックによる
大幅な営業赤字

- '09 米国リコール問題

2011年 女子ソフトボール部
リーグ2連覇

- 2010 女子ソフトボール部
1部リーグ初優勝、全日本総合選手権優勝

- 2011 陸上長距離部 全国実業団駅伝優勝
東日本大震災、タイの洪水被害



- '14 初代MIRAI発売

- 東京2020
オリンピック・パラリンピック
ワールドワイドパートナー契約

- 2015 ビーチバレーボール部 創設



2018年 屋内ビーチバレーボールコート完成時

- 2016 アルバルク東京 設立
硬式野球部 都市対抗野球優勝



- 2017

- スペシャルオリンピックス
グローバルパートナー契約

- 2018 リコンディショニングセンター開設

- 2019 GTTA(グローバルチームトヨタアスリート)選定



Woven City

- '20 Woven City 発表

- 2021 女子バスケットボール部 Wリーグ初優勝

- 東京2020オリンピック・パラリンピックトヨタアスリートの活躍

- 2022

- 北京2022冬季オリンピック・パラリンピック
トヨタアスリートの活躍

- 2023

- JFA モビリティパートナー契約



©JFA

トヨタ自動車 運動部一覧

トヨタ自動車には、各競技の国内トップリーグや国際大会を主戦場にする強化運動部7部と、「良き企業人の育成、選手の所属する職場の活性化」を目的に活動する25部+1団体の一般部がある。また、男子バスケットボールBリーグのアルバルク東京やサッカーJリーグの名古屋グランパスなどかつてのトヨタ運動部からプロ化したチームもあり、現在はパートナーという立場で支援している。

強化運動部 (7部)



ラグビー部
(トヨタヴェルブリッツ)



硬式野球部
(レッドクルーザーズ)



女子ソフトボール部
(レッドテリアーズ)



陸上長距離部



女子バスケットボール部
(アンテロプス)



スケート部



ビーチバレーボール部

PARTNERSHIP



アルバルク東京



名古屋グランパス

一般部 (25部+1団体)



アーチェリー部



ウェイトリフティング部



空手道部



弓道部



剣道部



山岳部



銃剣道部



柔道部



少林寺拳法部



女子バレーボール部



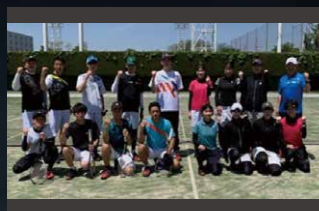
水泳部



スキー部



相撲部



ソフトテニス部



卓球部



男子硬式庭球部



男子ソフトボール部



男子バレーボール部



軟式野球部



バドミントン部



ハンドボール部



ボウリング部



ボート部



ボクシング部



陸上競技部



応援団

トヨタスポーツセンター / 強化運動部活動拠点

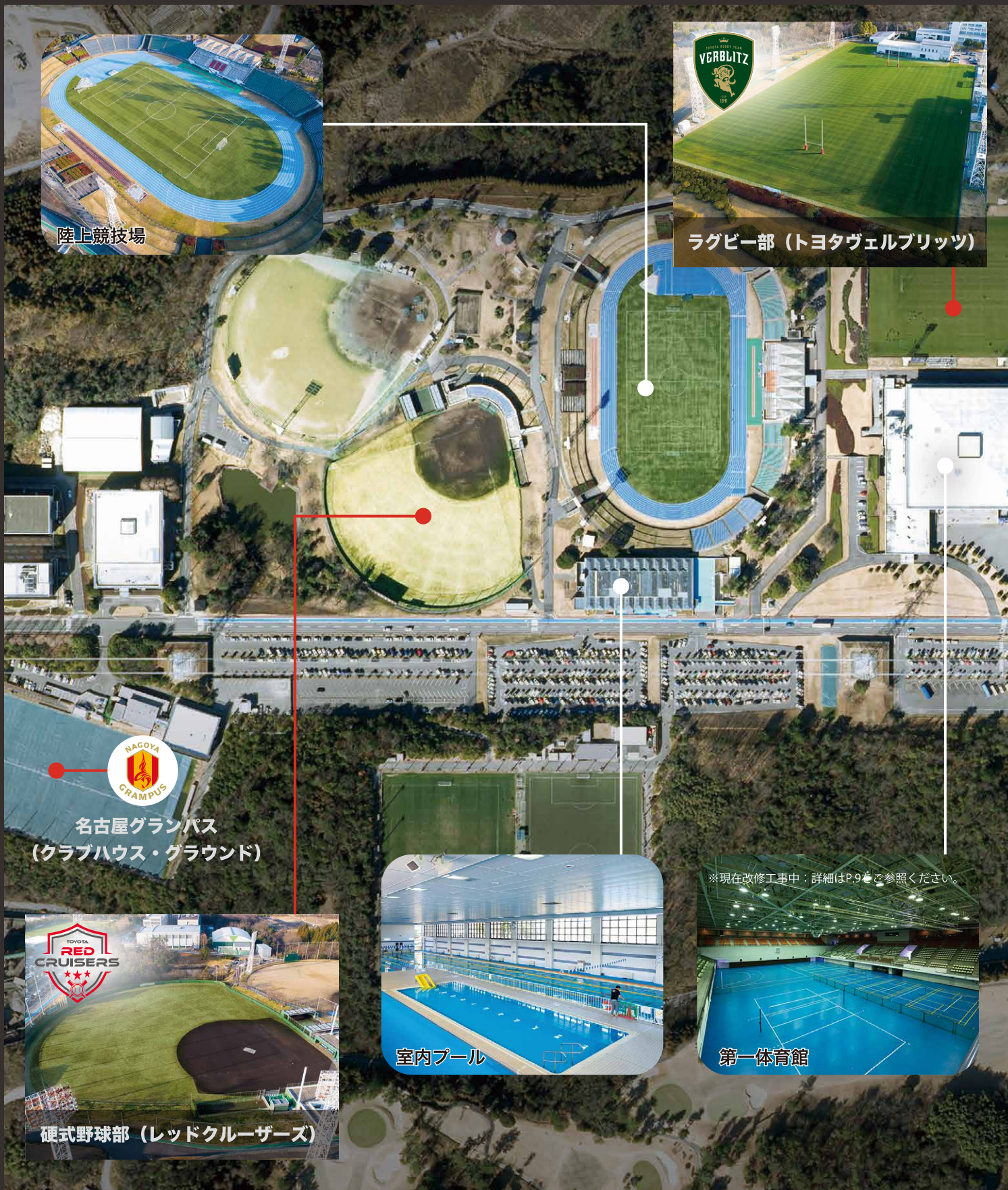
1973年に設立されたトヨタスポーツセンター。広大な敷地に多くのスポーツ施設を完備し、各運動部・アスリートの練習拠点となっているほか、従業員およびその家族の日々の利用から全社をあげた駅伝大会、イベントの開催まで幅広く活用されている。



陸上競技場



ラグビー部 (トヨタヴェルブリッツ)



名古屋グランパス
(クラブハウス・グラウンド)



硬式野球部 (レッドクルーザーズ)



室内プール



第一体育館

※現在改修工事中：詳細はP.9をご参照ください。

愛知県略図

トヨタスポーツセンター 豊田市

多目的グラウンド



テニスコート



女子ソフトボール部 (レッドテリヤーズ)

葵体育館

名古屋市



女子バスケットボール部 (アンテロプス)

中京大学アイスアリーナ

豊田市



スケート部

衣浦工場ビーチバレーボールコート

碧南市



ビーチバレーボール部

白谷海浜公園陸上競技場

田原市



陸上長距離部



アリーナ外観（芝生広場など）

トヨタスポーツセンター

RENEWAL PROJECT

2026年夏以降、一部施設より順次利用開始予定※

世界トップレベルの ハイパフォーマンスセンターへ

技術力向上、次世代育成、地域交流。全ての人々の幸せを量産するトヨタスポーツのセンター拠点化を目指してリニューアルプロジェクトが始動。
第1弾としてトヨタスポーツセンター第一体育館の建て替え工事がスタート



アリーナ内観（室内トラック/動作解析施設など）



バリアフリー化されたアスリートモール



トレーニングエリア



レストラン/カフェ

1000㎡超のジムスペースや国内トップレベルの動作解析設備、最先端のリハビリ&コンディショニング施設、全面バリアフリー化されたパラアスリートトレーニング施設などが完備され、地域住民が集う芝生広場やカフェスペースも設置予定。

※現時点での計画に基づくものであり、今後関係各所との協議に応じて変更される場合や、情勢・進捗状況によって延期の可能性あり

TOKYO A-ARENA PROJECT



あらゆる可能性を解き放つ
今までになかった新アリーナ誕生へ

アルバルク東京のホームアリーナとしてお台場エリアの青海に建設中の次世代アリーナ「TOYOTA ARENA TOKYO」。

「可能性にかけていこう」のコンセプトのもと、様々なパートナーの協力を得ながら「スポーツ」「モビリティ」「サステナビリティ」といった領域を中心に、様々な可能性が集積し、その可能性が解き放たれる場所となることを目指していく。



2025年秋開業に向けプロジェクト進行中！

次世代スポーツ エクスペリエンス

もっと観たくなる。やりたくなる。

未来型 モビリティサービス

もっと便利になる。楽しくなる。

持続型ライフ スタイルデザイン

もっとつながる。変わり続ける。

詳細は特設サイト
VISION MOVIE をチェック！



特設サイト



VISION MOVIE

ALVARK
TOKYO





ラグビー部 / トヨタヴェルブリッツ

TOYOTA VERBLITZ

ラグビーを通じて
応援してくださる方に勇気・感動を届ける
地域と共に課題解決に取り組み、社会変革をリードする

戦績

	2011 - 2012	2012 - 2013	2013 - 2014	2014 - 2015	2015 - 2016	2016 - 2017	2017 - 2018	2018 - 2019	2019 - 2020	2020 - 2021
トップリーグ	10位	5位	6位	6位	5位	8位	4位	4位		3位
	2022	2022 - 2023	2023 - 2024							
JAPAN RUGBY LEAGUE ONE	5位	6位	7位							

代表選手

日本代表

日本代表：姫野和樹、松田力也、三浦昌悟、高橋汰地、ニコラス マクカラン、シオサイア フィフィタ、谷中樹平*

*7人制

南アフリカ代表

ピーターステフ デュトイ

強化施設



クラブハウス



グラウンド



ウェイトルーム



ケアルーム

INFORMATION



公式
WEB



① 生年月日 ② 身長 ③ 体重 ④ 出身地 ⑤ 出身校 ⑥ 所属部署

HC ヘッドコーチ

**スティーブ
ハンセン**
Steve Hansen**イアン
フォスター**
Ian Foster**須藤 元樹**
Sudo Genki
① 1994/1/28 ② 173cm ③ 110kg
④ 東京都 ⑤ 明治大学
⑥ トヨタスポーツ推進部**崔 凌也**
Che Runya
① 1994/5/20 ② 182cm ③ 110kg
④ 福岡県 ⑤ 筑波大学
⑥ 元町工場組立部**三浦 昌悟**
Miura Shogo
① 1995/6/8 ② 180cm ③ 112kg
④ 秋田県 ⑤ 東海大学
⑥ 電池調達室**木津 悠輔**
Kizu Yusuke
① 1995/12/2 ② 178cm ③ 113kg
④ 大分県 ⑤ 天理大学
⑥ トヨタ記念病院**浅岡 俊亮**
Asaka Shunsuke
① 1996/6/24 ② 187cm ③ 123kg
④ 京都府 ⑤ 帝京大学
⑥ ブランド・環境技術部**清水 岳**
Shimizu Gaku
① 1998/11/22 ② 174cm ③ 108kg
④ 大阪府 ⑤ 帝京大学
⑥ 上郷・下工場工場総括室**百地 龍之介**
Momoji Ryunosuke
① 1999/9/3 ② 175cm ③ 106kg
④ 大阪府 ⑤ 立命館大学 ⑥ 生産管理部**川崎 太雅**
Kawasaki Kazasaki
① 2001/5/10 ② 171cm ③ 106kg
④ 福岡県 ⑤ 早稲田大学 ⑥ 国内商品部**西野 拓真**
Nishino Takuma
① 2001/11/19 ② 186cm ③ 113kg
④ 京都府 ⑤ 帝京大学
⑥ 三好工場・明知工場工場総括室**サミュエル マタアファ**
Samuel Mataafa
① 2002/4/2 ② 184cm ③ 116kg
④ オーストラリア ⑤ バジュー カレッジ
⑥ トヨタスポーツ推進部

Hooker フッカー

**有田 隆平**
Arita Ryuhei
① 1989/3/21 ② 177cm ③ 102kg
④ 福岡県 ⑤ 早稲田大学
⑥ トヨタスポーツ推進部**彦坂 圭克**
Hikosaka Yoshikatsu
① 1991/1/18 ② 178cm ③ 103kg
④ 愛知県 ⑤ 筑波大学 ⑥ 総務部**加藤 竜聖**
Kato Ryusei
① 1997/1/14 ② 178cm ③ 102kg
④ 愛知県 ⑤ 東海大学 ⑥ 物流管理部**福澤 慎太郎**
Fukuzawa Shintaro
① 2001/9/20 ② 168cm ③ 99kg
④ 東京都 ⑤ 慶應義塾大学
⑥ ユニット部品調達部

Lock ロック

**ジョシュ デイクソン**
Josh Dickson
① 1994/11/2 ② 200cm ③ 112kg
④ オーストラリア ⑤ オタゴボーイズ高校
⑥ トヨタスポーツ推進部**トム ロビンソン**
Tom Robinson
① 1994/11/10 ② 198cm ③ 106kg
④ ニュージーランド ⑤ ケリケリ高校
⑥ トヨタスポーツ推進部**秋山 大地**
Akiyama Daichi
① 1996/11/14 ② 192cm ③ 114kg
④ 徳島県 ⑤ 帝京大学
⑥ 三好工場・明知工場 工場総括室**山川 一磋**
Yamakawa Issa
① 2000/7/5 ② 190cm ③ 106kg
④ 京都府 ⑤ 帝京大学
⑥ トヨタスポーツ推進部

Flankers フランカー



ウィリアム トゥポウ

William Tupou

- 1 1990/7/20 2 188cm 3 105kg
- 4 ニュージーランド 5 フリスベン高校
- 6 トヨタスポーツ推進部



ピーターステフ デュトイ

Pieter Step Du Toit

- 1 1992/8/20 2 200cm 3 114kg
- 4 南アフリカ共和国 5 スワートランド高校
- 6 トヨタスポーツ推進部



姫野 和樹

Himeno Kazuki

- 1 1994/7/27 2 187cm 3 110kg
- 4 愛知県 5 帝京大学
- 6 C V統括部



小池 隆成

Koike Ryusei

- 1 1999/11/18 2 188cm 3 107kg
- 4 東京都 5 東海大学
- 6 本社工場 工場総括室



アイザイア マプスア

Isaiiah Mapusua

- 1 2000/12/21 2 191cm 3 113kg
- 4 ニュージーランド 5 慶応義塾大学
- 6 トヨタスポーツ推進部

Number.8 ナンバーエイト



奥井 章仁

- 1 2001/9/17 2 177cm 3 103kg
- 4 大阪府 5 帝京大学
- 6 トヨタ技能者養成所



三木 皓正

Miki Kousei

- 1 2002/1/22 2 174cm 3 95kg
- 4 京都府 5 京都産業大学
- 6 生産部品物流部



村田 陣悟

MURATA JINGO

- 1 2002/2/22 2 185cm 3 102kg
- 4 京都府 5 早稲田大学
- 6 モノづくりエンジニアリング部



フェツアニ ラウタイミ

Fetuani Lautaimi

- 1 1992/10/21 2 185cm 3 115kg
- 4 トンガ王国 5 摂南大学
- 6 トヨタスポーツ推進部

Scrum Half スクラムハーフ



アーロン スミス

Aaron Smith

- 1 1988/11/21 2 171cm 3 83kg
- 4 ニュージーランド
- 5 フィールドテック高校
- 6 トヨタスポーツ推進部



茂野 海人

Shigeno Kaito

- 1 1990/11/21 2 170cm 3 78kg
- 4 大阪府 5 大東文化大学
- 6 生産本部人事室



梁 正秋

Ryang Jongchu

- 1 1992/12/14 2 171cm 3 75kg
- 4 大阪府 5 京都産業大学
- 6 トヨタスポーツ推進部



田村 魁世

Tamura Kaisai

- 1 1999/12/15 2 171cm 3 80kg
- 4 神奈川県 5 同志社大学
- 6 生産調査部

Stand Off スタンドオフ



松田 カ也

Matsuda Rikiya

- 1 1994/5/3 2 181cm 3 92kg
- 4 京都府 5 帝京大学
- 6 トヨタスポーツ推進部



ティアン ファルコン

Tiaan Falcon

- 1 1997/6/19 2 181cm 3 89kg
- 4 ニュージーランド
- 5 リンディスファーン大学
- 6 トヨタスポーツ推進部



北村 将大

Kitamura Masahiro

- 1 1998/8/29 2 171cm 3 85kg
- 4 兵庫県 5 帝京大学 6 人材開発部

Center センター



ヴァティライイ ツイドラキ

Vatiilai Tuidraki

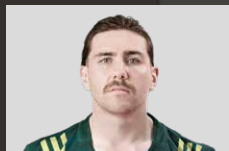
- 1 1995/1/4 2 182cm 3 100kg
- 4 フィジー 5 オークランド大学
- 6 トヨタスポーツ推進部



岡田 優輝

Okada Yuki

- 1 1995/7/13 2 181cm 3 91kg
- 4 兵庫県 5 帝京大学 6 車両工務部



ニコラス・マクカラン

Nicholas McCurran

- 1 1996/6/13 2 189cm 3 94kg
- 4 ニュージーランド 5 帝京大学
- 6 トヨタスポーツ推進部



ディック ウィルソン

Dick Wilson

- 1 1996/9/2 2 180cm 3 94kg
- 4 サモア 5 アオレレ大学
- 6 トヨタスポーツ推進部



シオサイア フィフタ

Siosaia Fifta

- 1 1998/12/20 2 187cm 3 105kg
- 4 トンガ 5 天理大学
- 6 トヨタスポーツ推進部



松山 千大

Matsuyama Chihiro

- 1 2001/1/5 2 173cm 3 88kg
- 4 大阪府 5 帝京大学 6 生産本部人事室

Wing ウイング



高橋 汰地

Takahashi Taichi

① 1996/6/24 ② 180cm ③ 90kg
 ④ 兵庫県 ⑤ 明治大学
 ⑥ ボテ一部品調達部



山口 修平

Yamaguchi Shuhei

① 1996/7/21 ② 183cm ③ 98kg
 ④ 大阪府 ⑤ 同志社大学 ⑥ 中国室



ヴィリアメツイドラキ

Villame Tuidraki

① 1997/1/9 ② 184cm ③ 102kg
 ④ ニュージーランド ⑤ 摂南大学
 ⑥ トヨタスポーツ推進部



和田 悠一郎

Wada Yuichiro

① 1999/8/30 ② 178cm ③ 88kg
 ④ 奈良県 ⑤ 同志社大学
 ⑥ 開発試作部



ジョネ ナベテレヴ

Jone Nabetelevu

① 1999/2/22 ② 185cm ③ 97kg
 ④ フィジー ⑤ エレスメアカレッジ
 ⑥ トヨタスポーツ推進部

Full Back フルバック



大藪 洸太

Oyabu Kouta

① 2001/3/5 ② 181cm ③ 92kg
 ④ 愛知県 ⑤ 帝京大学
 ⑥ 広報部



マット・マッガーン

Matt Mcgahan

① 1993/4/21 ② 185cm ③ 89kg
 ④ オーストラリア
 ⑤ マウントアルバートグラマー高校
 ⑥ トヨタスポーツ推進部



中野 剛通

Nakano Takernichi

① 1996/12/19 ② 186cm ③ 94kg
 ④ 兵庫県 ⑤ 日本体育大学
 ⑥ サービスパーツ物流部



谷中 樹平

Taninaka Kippel

① 2000/6/4 ② 177cm ③ 80kg
 ④ 兵庫県 ⑤ 帝京大学
 ⑥ 車両物流部

顧問

熊倉 和生

Kumakura Kazunari

部長

宮市 達也

Miyachi Tatsuya

アドバイザー

高橋 一彰

Takahashi Kazuaki

GM

後藤 彰友

Goto Akitomo

ヘッドコーチ/D.O.R

スティーブ
ハンセン

Steve Hansen

Co.コーチ

イアン
フォスター

Ian Foster

アシスタントコーチ

ネイサン
ホワイト

Nathan White

アシスタントコーチ

上野 隆太

Ueno Ryuta

ヘッドS & Cコーチ

ジェイソン
プライス

Jason Price

S & Cコーチ

牧野 慎二

Makino Shinji

S & Cコーチ

小西 駿斗

Konishi Hayato

メディカルコーディネーター

小林 寛和

Kobayashi Hirokazu

ヘッドアスレティックトレーナー

大隈 祥弘

Okuma Yoshihiro

アスレティックトレーナー

小久江 竜一

Kokue Ryuichi

理学療法士

菅野 陽介

Kanno Yosuke

ヘッドアナリスト

ピーター
パウデン

Peter Bowden

アナリスト

刀根 拓人

Tone Hiroto

チーム運営総括

高柳 健一

Takayanagi Kenichi

主務

山岸 至

Yamagishi Itaru

副務

茂木 寿昭

Mogi Toshiaki

広報

渡邊 華月

Watanabe Kazuki

生活サポート/通訳

阿部 千春

Abe Chiharu

コミュニケーション統括

中澤 ジュリア

Nakazawa Julia

通訳

榎田 剛志

Enokida Tsuyoshi

通訳

河野 海輝

Kon O Kaiki

事業統括責任者

伊藤 勇介

Ito Yusuke

事業リーダー

谷口 智明

Taniguchi Tomoaki

事業リーダー

飯田 倫大

Iida Tomohiro

事業スタッフ

吉野 和也

Yoshino Kazuya

事業スタッフ

水野 翔太

MIZUNO SHOTA

事業スタッフ

中尾 真菜

Nakao Mana

事業スタッフ (普及)

竹井 勇二

Takei Yuji

事業スタッフ

若生 由香

Wako Yuka

管理栄養士

石橋 彩

Ishibashi Aya

サポートスタッフ

今井田 千恵

Imaida Chie

チームドクター

亀山 泰

Kameyama Yasushi

チームドクター

井戸田 仁

Idota Hitoshi

チームドクター

熊澤 雅樹

Kumazawa Masaki

チームドクター

竹内 康剛

Takeuchi Yasutaka

チームライター

森本 優子

Morimoto Yuko



硬式野球部 / レッドクルーザーズ

RED CRUISERS

Fight it out, TOYOTA

戦績

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
都市対抗	予選敗退	予選敗退	ベスト8	優勝	2回戦敗退	2回戦敗退	準優勝	1回戦敗退	1回戦敗退	ベスト4	優勝
日本選手権	初戦敗退	優勝	初戦敗退	ベスト8	優勝	初戦敗退	2回戦敗退	中止	2回戦敗退	優勝	2回戦敗退

歴代OB (プロ野球選手)

- 2023 松本 健吾 東京ヤクルトスワローズ
- 2022 長谷部 銀次 広島東洋カープ
- 吉野 光樹 横浜 DeNA ベイスターズ
- 2021 中村 健人 広島東洋カープ
- 2020 栗林 良吏 広島東洋カープ
- 2018 富山 凌雅 オリックスバファローズ
- 2017 藤岡 裕大 千葉ロッテマリーンズ
- 2016 源田 壮亮 埼玉西武ライオンズ
- 2015 木下 拓哉 中日ドラゴンズ
- 青山 大紀 オリックスバファローズ

- 2013 祖父江 大輔 中日ドラゴンズ
- 2010 荒波 翔 横浜ベイスターズ
- 2009 大谷 智久 千葉ロッテマリーンズ
- 中澤 雅人 東京ヤクルトスワローズ
- 荻野 貴司 千葉ロッテマリーンズ
- 2007 服部 泰卓 千葉ロッテマリーンズ
- 2006 上野 弘文 広島東洋カープ
- 2005 吉見 一起 中日ドラゴンズ
- 2004 金子 千尋 オリックスバファローズ
- 平石 洋介 東北楽天ゴールデンイーグルス
- 鎌田 圭司 中日ドラゴンズ

- 2003 川岸 強 中日ドラゴンズ
- 2001 安藤 優也 阪神タイガース
- 1999 山北 茂利 中日ドラゴンズ
- 1994 高橋 建 広島東洋カープ
- 山田 広二 中日ドラゴンズ
- 1992 吉鶴 憲治 中日ドラゴンズ
- 1989 古田 敦也 東京ヤクルトスワローズ
- 1972 三浦 政基 東映フライヤーズ
- 1969 松枝 三男 中日ドラゴンズ

強化施設



クラブハウス



グラウンド



室内練習場



初動負荷トレーニングルーム

INFORMATION



公式WEB



① 生年月日 ② 身長 ③ 体重 ④ 出身地 ⑤ 出身校 ⑥ 所属部署

Director 監督



88 藤原 航平
Fujiwara Kohei

Pitchers 投手



11 大柴 陽斗
Ohsakae Akito
① 2001/9/3 ② 178cm ③ 80kg
④ 福島県 ⑤ 中央大学
⑥ 高岡工場 組立部



12 山城 大智
Yamashiro Daichi
① 1996/9/26 ② 176cm ③ 85kg
④ 沖縄県 ⑤ 亜細亜大学
⑥ 開発試作部



13 細川 拓哉
Hosokawa Takuya
① 2000/4/6 ② 176cm ③ 88kg
④ 茨城県 ⑤ 東北福祉大学
⑥ サービスパーツ物流部



14 増居 翔太
Masui Shota
① 2000/5/25 ② 172cm ③ 70kg
④ 滋賀県 ⑤ 慶応義塾大学
⑥ MS統括部



15 瀧上 佳輝
Fuchigami Yoshiki
① 1997/6/20 ② 176cm ③ 78kg
④ 神奈川県 ⑤ 星槎道都大学
⑥ 本社工場



16 後藤 凌寿
Goto Ryoju
① 2002/2/16 ② 183cm ③ 82kg
④ 三重県 ⑤ 東北福祉大学
⑥ 三好工場・明知工場工場総括室



17 加藤 泰靖
Katoh Taisei
① 2000/12/18 ② 183cm ③ 87kg
④ 千葉県 ⑤ 上武大学
⑥ 堤工場組立部



18 磯村 峻平
Isomura Shumpei
① 1999/9/4 ② 178cm ③ 85kg
④ 愛知県 ⑤ 明治大
⑥ 資材・設備調達部



20 嘉陽 宗一郎
Kayo Shuichiro
① 1995/11/15 ② 187cm ③ 87kg
④ 沖縄県 ⑤ 亜細亜大学
⑥ 生産管理部



21 池村 健太郎
Ikemura Kentaro
① 2001/11/1 ② 181cm ③ 82kg
④ 愛知県 ⑤ 愛知学院大学
⑥ 水素製品開発部



30 山内 大輔
Yamauchi Daisuke
① 1999/8/22 ② 178cm ③ 83kg
④ 愛知県 ⑤ 武蔵大
⑥ 国内業務部

Catchers 捕手



10 福井 章吾
Fukui Shogo
① 1999/4/23 ② 168cm ③ 78kg
④ 大阪府 ⑤ 慶応義塾大
⑥ 人事部



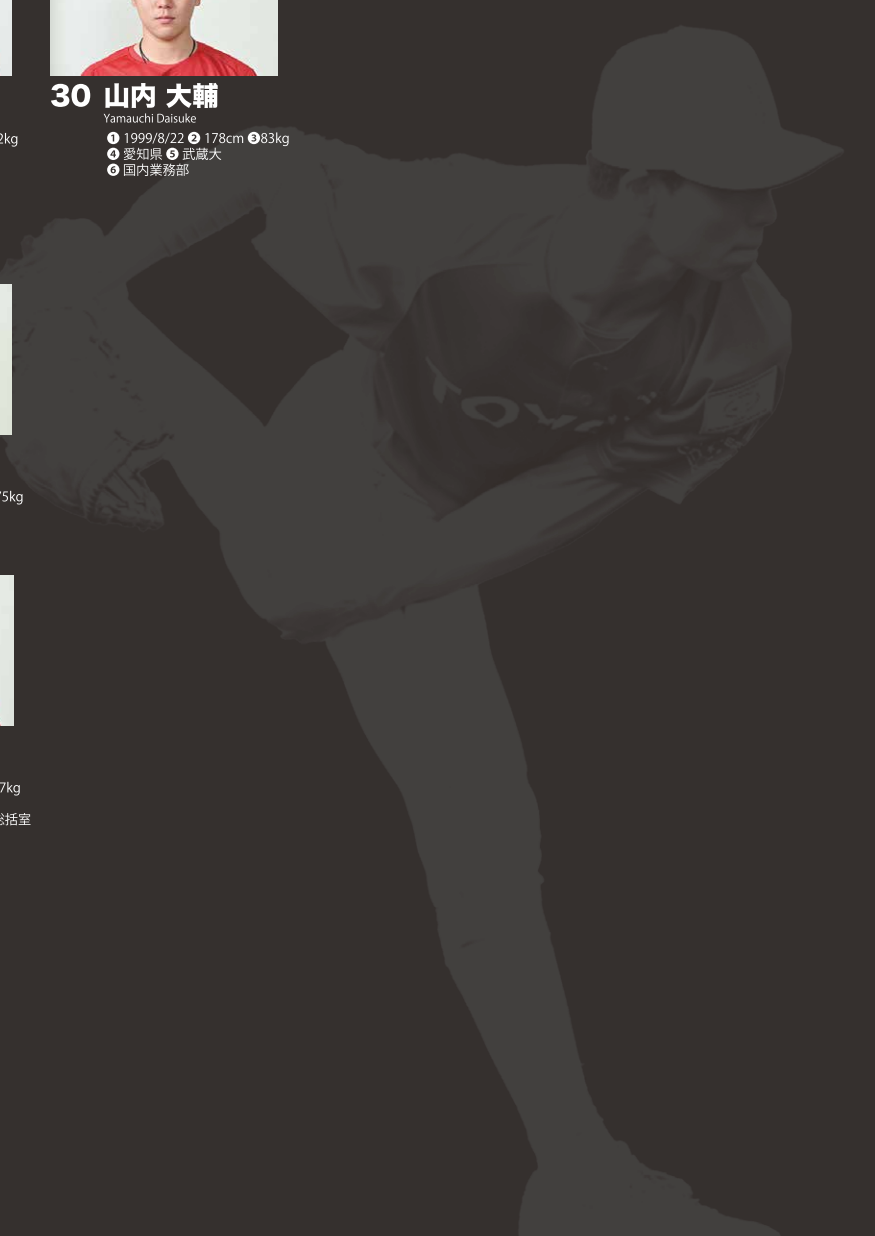
22 高祖 健輔
Kousou Kensuke
① 1996/1/10 ② 175cm ③ 75kg
④ 岡山県 ⑤ 環太平洋大学
⑥ ITマネジメント部



27 小畑 尋規
Obata Hiroki
① 1996/3/9 ② 178cm ③ 90kg
④ 北海道 ⑤ 立正大学
⑥ 生産本部人事部



32 五十嵐 寛人
Igarashi Hiroto
① 1999/4/27 ② 178cm ③ 87kg
④ 千葉県 ⑤ 明治大
⑥ 上郷・下山工場 工場総括室



Infielders 内野手



1 熊田 任洋
Kumada Toyo
① 2001/4/15 ② 174cm ③ 82kg
④ 岐阜県 ⑤ 早稲田大学
⑥ トヨタ技能者養成所



3 三塚 武蔵
Mitsuzuka Musashi
① 2000/11/20 ② 183cm ③ 97kg
④ 岐阜県 ⑤ 中部学院大学
⑥ 安全健康推進部



4 北村 祥治
Kitamura Shoji
① 1994/1/23 ② 177cm ③ 81kg
④ 石川県 ⑤ 亜細亜大学
⑥ グローバル生産推進センター



5 河原 右京
Kawahara Ukyo
① 1993/11/4 ② 173cm ③ 76kg
④ 徳島県 ⑤ 早稲田大学
⑥ 上郷・下山工場 工場総括室



6 佐藤 勇基
Sato Yuki
① 1998/5/9 ② 178cm ③ 71kg
④ 愛知県 ⑤ 法政大学
⑥ サプライチェーン戦略部



8 和田 佳大
Wada Keita
① 1997/4/24 ② 167cm ③ 65kg
④ 鹿児島県 ⑤ 中央大学
⑥ 生産本部人事室



9 今泉 颯太
Imaizumi Sota
① 2001/12/18 ② 178cm ③ 82kg
④ 愛知県 ⑤ 法政大学
⑥ 物流管理部



25 今井 脩斗
Imai Shuto
① 1999/5/9 ② 178cm ③ 95kg
④ 埼玉県 ⑤ 早稲田大学
⑥ 国内業務部

Outfielders 外野手



0 八木 健太郎
Yagi Kentaro
① 1994/6/29 ② 176cm ③ 70kg
④ 神奈川県 ⑤ 早稲田大学
⑥ 総務部



2 逢澤 峻介 CAPTAIN
Aizawa Ryosuke
① 1996/9/26 ② 175cm ③ 81kg
④ 岡山県 ⑤ 明治大学
⑥ 車両工務部



7 多木 裕史
Taki Hiroshi
① 1990/5/12 ② 178cm ③ 75kg
④ 香川県 ⑤ 法政大学
⑥ 車両工務部



24 坂巻 尚哉
Sakamaki Naoya
① 1998/8/24 ② 174cm ③ 81kg
④ 千葉県 ⑤ 中央大学
⑥ 先進技術統括部



26 高橋 優
Takahashi Yu
① 1996/8/10 ② 173cm ③ 77kg
④ 兵庫県 ⑤ 亜細亜大学
⑥ 素材材技術部



28 宮崎 仁斗
Miyazaki Jinto
① 2000/4/10 ② 170cm ③ 75kg
④ 奈良県 ⑤ 立教大学
⑥ パワートレーン統括部



29 徳本 健太郎
Tokumoto Kentaro
① 1996/8/22 ② 178cm ③ 76kg
④ 京都府 ⑤ 青山学院大学
⑥ モノづくりにエン지니어リング部



31 六井 貴一
Anai Kiichi
① 2000/2/18 ② 174cm ③ 78kg
④ 広島県 ⑤ 亜細亜大学
⑥ 生産部品物流部

顧問
森田 光宏
Morita Mitsuhiro

部長
安部 隆信
Abe Takanobu

副部長
寺田 記央
Terada Norio

監督
藤原 航平
Fujiwara Kohei

コーチ
辰巳 智大
Tatsumi Tomohiro

コーチ
川尻 一旗
Kawajiri Kazuki

コーチ
細山田 武史
Hosoyamada Takeshi

コーチ
小河 諒
Ogawa Ryo

テクニカルアドバイザー
吉見 一起
Yoshimi Kazuki

アナライザー
磯和 純一郎
Isowa Junichiro

アナライザー
山田 貴也
Yamada Takaya

マネージャー
葛川 知哉
Kuzukawa Tomoya

広報兼マネージャー
太田 翼
Ota Tsubasa

コンディショニングコーチ
河野 光雄
Kawano Mitsuo

トレーナー
佐藤 佑介
Sato Yusuke

トレーナー
草場 昭宏
Kusaba Akihiro

パフォーマンスダイレクター
布施 努
Fuse Tsutomu

地域貢献プランナー
上田 龍弘
Ueda Tatsushihiro





女子ソフトボール部 / レッドテリアーズ

RED TERRIERS

VV 常 Show!

戦績

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021		2022	2023
女子1部リーグ	2位	優勝	3位	優勝	3位	3位	2位	JDリーグ	レギュラーシーズン 西地区優勝 ダイヤモンドシリーズ セミファイナル	優勝
全日本総合選手権	3位	3位	優勝	3位	優勝	中止	6位	全日本総合選手権	優勝	優勝

歴代オリンピック代表選手

アトランタ 1996

原田教子
塚田恵美

北京 2008

伊藤幸子

東京 2020

峰幸代
渥美万奈
モニカ・アボット*

山崎早紀
後藤希友
原田のどか

*アメリカ代表

強化施設



クラブハウス



グラウンド



ウエイトルーム



ブルペン

INFORMATION

公式
WEB

①生年月日 ②身長 ③出身地 ④出身校 ⑤所属部署

Director 監督

30 馬場 幸子
Baba Sachiko

Pitcher 投手

15 丸本 真菜
Marumoto Mana① 2004/4/6 ② 168cm
③ 愛知県 ④ 厚木商業高校
⑤ 生産管理部18 後藤 希友
Goto Miu① 2001/3/2 ② 174cm
③ 愛知県 ④ 東海学園高校
⑤ トヨタ技能者養成所27 石堂 紗雪
Ishido Sayuki① 2003/8/29 ② 170cm
③ 愛知県 ④ 東海学園高校
⑤ TQM推進部80 メーガン ファライモ
Faraimo Megan① 2000/7/14 ② 182cm
③ アメリカ ④ UCLA大学
⑤ トヨタスポーツ推進部

Catcher 捕手

2 藤家 菜々子
Fujie Nanako① 1997/12/24 ② 163cm
③ 東京都 ④ 日出高校
⑤ モノづくりエンジニアリング部6 市川 愛渚
Ichikawa Hina① 2001/6/1 ② 168cm
③ 石川県 ④ 中京大学
⑤ CV統括部20 切石 結女
Kirishi Yume① 1999/12/12 ② 172cm
③ 千葉県
④ 千葉経済大学附属高校
⑤ レクス統括部1 石川 恭子
Ishikawa Kyoko① 1996/5/28 ② 159cm
③ 東京都 ④ 園田学園女子大学
⑤ 本社工場 工場総括室3 下山 絵理
Shimoyama Eri① 1998/12/26 ② 166cm
③ 高知県 ④ 園田学園女子大学
⑤ 車両工務部5 片岡 僚子
Kataoka Ryoko① 2000/6/21 ② 160cm
③ 愛知県 ④ 中京大学
⑤ 上郷下山工場エンジン製造技術部8 澤田 望愛
Sawada Moa① 1999/6/21 ② 166cm
③ 兵庫県 ④ 東海学園大学
⑤ フラント・環境技術部10 鎌田 優希 CAPTAIN
Kamata Yuuki① 1995/11/22 ② 162cm
③ 福岡県 ④ IPU・環太平洋大学
⑤ 電子プラットフォーム開発部11 島仲 湊愛
Shimanaka Soa① 2005/9/5 ② 158cm
③ 沖縄県 ④ 福岡大附若葉高校
⑤ TC統括部12 舟阪 育枝
Funasaki Ikuo① 2000/7/24 ② 163cm
③ 愛知県 ④ 日本体育大学
⑤ ITマネジメント部

Outfielder 外野手

13 後藤 実来
Goto Miku① 2003/6/20 ② 167cm
③ 青森県 ④ 花巻東高校
⑤ 第2MS車両開発部22 高島 歩
Takashima Ayumi① 2001/1/25 ② 170cm
③ 埼玉県 ④ 東京女子体育大学
⑤ カスタマーファースト統括部4 原田 のどか
Harada Nodoka① 1991/8/9 ② 163cm
③ 岡山県 ④ 岡山南高校
⑤ 上郷・下山工場 工場総括室9 門 里唄
Kado Satomi① 2000/11/23 ② 160cm
③ 長崎県 ④ 園田学園女子大学
⑤ ハワードレーン統括部16 伊波 菜々
Iha Nana① 1999/6/24 ② 158cm
③ 東京都 ④ 日出高校
⑤ 車両工務部17 森岡 真奈
Morioka Mana① 2002/8/24 ② 164cm
③ 京都府 ④ 東海学園高校
⑤ 本社工場織造部25 山田 柚葵
Yamada Yuzuki① 1999/5/28 ② 165cm
③ 愛媛県 ④ 日本体育大学
⑤ MSプラットフォーム開発部

顧問

河合 満
Kawai Mitsuru

部長

秦 健悟
Hata Kengo

GM

新木 祐未
Shinki Yuumi

監督

馬場 幸子
Baba Sachiko

マネージャー

長谷部 陽香
Hasebe Haruka

マネージャー

出羽 瑞果
Dewa Mizuka

コーチ

坂元 令奈
Sakamoto Haruna

ピッチングコーチ

神谷 了華
Kamiya Ryoka

トレーニングコーチ

小岩 晴樹
Koita Haruki

トレーナー

菅野 仁
Kanno Hitoshi

トレーナー

照喜名 真李
Terukina Mari

トレーナー

照喜名 真李
Terukina Mari

アナリスト

豊島 彩宇
Toyoshima Ayane

通訳

神保 都
Jinbo Miyako



陸上長距離部

継承と進化

戦績

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
全日本実業団駅伝	7位	優勝	優勝	2位	3位	3位	2位	2位	5位	3位	優勝
中部実業団駅伝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	2位	優勝	優勝	

歴代日本代表選手

オリンピック・世界選手権

2000 シドニーオリンピック 3000m 障害代表 (岩水)
 2004 アテネオリンピック 3000m 障害代表 (岩水)
 2011 テグ世界選手権マラソン代表 (尾田)
 2020 東京オリンピックマラソン代表 (服部)
 2022 オレゴン世界選手権マラソン代表 (西山雄)
 2023 ブダペスト世界選手権マラソン代表 (西山和)
 2023 ブダペスト世界選手権 10000m 代表 (田澤)
 2024 パリオリンピック 10000m 代表 (太田)

世界ハーフマラソン・世界クロスカントリー

2009 世界ハーフマラソン代表 (尾田)
 2011 世界クロスカントリー代表 (高林)
 2012 世界ハーフマラソン代表 (宮脇)
 2016 世界ハーフマラソン代表 (大石)
 2019 世界クロスカントリー代表 (西山雄)
 2020 世界ハーフマラソン代表 (藤本)
 2023 世界ロードランニング代表 (太田)

強化施設



白谷海浜公園陸上競技場



トレーニングルーム



低炭素室



クロスカントリーコース

INFORMATION



公式
WEB

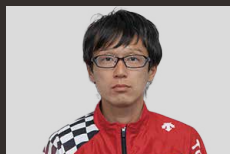


① 生年月日 ② 身長 ③ 体重 ④ 出身地 ⑤ 出身校 ⑥ 所属部署

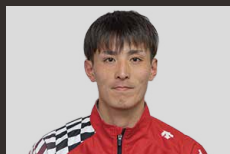
Director 監督

**熊本 剛**

Kumamoto Takeshi

**田中 秀幸**

Tanaka Hideyuki

① 1990/10/9 ② 168cm ③ 53kg
④ 愛知県 ⑤ 順天堂大学
⑥ 田原工場車体部**服部 勇馬**

Hattori Yuma

① 1993/11/13 ② 176cm ③ 66kg
④ 新潟県 ⑤ 東洋大学
⑥ 生産本部人事室**西山 雄介**

Nishiyama Yusuke

① 1994/11/7 ② 173cm ③ 57kg
④ 三重県 ⑤ 駒澤大学
⑥ 田原工場車体部**丸山 竜也**

Maruyama Tatsuya

① 1994/7/29 ② 164cm ③ 56kg
④ 千葉県 ⑤ 専修大学
⑥ 田原工場組立部**安井 雄一**

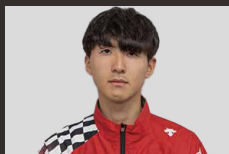
Yasui Yuichi

① 1995/5/19 ② 170cm ③ 57kg
④ 千葉県 ⑤ 早稲田大学
⑥ 車両工務部**野中 優志**

Nonaka Masashi

① 1995/11/10 ② 165cm ③ 47kg
④ 兵庫県 ⑤ 関西学院大学
⑥ 田原工場エンジン製造部**畔上 和弥**

Azegami Kazuya

① 1996/11/14 ② 171cm ③ 54kg
④ 新潟県 ⑤ 帝京大学
⑥ 田原工場車体部**太田 智樹**

Ota Tomoki

① 1997/10/17 ② 175cm ③ 58kg
④ 静岡県 ⑤ 早稲田大学
⑥ 田原工場エンジン製造部**佐藤 敏也**

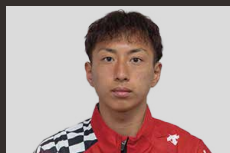
Sato Toshiya

① 1998/3/11 ② 165cm ③ 56kg
④ 愛知県 ⑤ 法政大学
⑥ 田原工場塗装成形部**西田 壮志**

Nishida Takeshi

① 1998/4/10 ② 162cm ③ 45kg
④ 熊本県 ⑤ 東海大学
⑥ 田原工場品質管理部**西山 和弥**

Nishiyama Kazuya

① 1998/11/5 ② 167cm ③ 52kg
④ 群馬県 ⑤ 東洋大学
⑥ 生産本部人事室**内田 隼太**

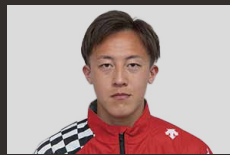
Uchida Shunta

① 2000/9/19 ② 166cm ③ 53kg
④ 神奈川県 ⑤ 法政大学
⑥ 田原工場レクリエーション製造部**田澤 廉**

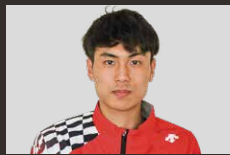
Tazawa Ren

① 2000/11/11 ② 180cm ③ 62kg
④ 青森県 ⑤ 駒沢大学
⑥ 総務部東京総務室**野村 優作**

Nomura Yusaku

① 2001/3/8 ② 176cm ③ 53kg
④ 和歌山県 ⑤ 順天堂大学
⑥ 田原工場塗装成形部**三山 翔太**

Miyama Shota

① 2000/12/5 ② 176cm ③ 60kg
④ 栃木県 ⑤ 日本大学
⑥ 田原工場組立部**鈴木 芽吹**

Suzuki Mebuki

① 2001/6/3 ② 174cm ③ 58kg
④ 静岡県 ⑤ 駒澤大学
⑥ 情報通信企画部**吉居 大和**

Yoshii Yomato

① 2002/2/14 ② 168cm ③ 50kg
④ 愛知県 ⑤ 中央大学
⑥ 田原工場品質管理部**ビダン カロキ**

Bedan Karoki

① 1990/8/21 ② 170cm ③ 54kg
④ ケニア ⑤ 世羅高等学校
⑥ 車両工務部**コリル フェリックス**

Korir Felix

① 2003/8/15 ② 173cm ③ 55kg
④ ケニア ⑤ 世羅高等学校
⑥ チェオイトナショナルスクール
⑦ 車両工務部**サムエル キバティ**

Samuel Kibathi

① 2005/2/23 ② 170cm ③ 55kg
④ ケニア ⑤ 倉敷高校
⑥ 田原工場車両工務部

顧問

瀬理 正宏

Seri Masahiro

副部長

内田 直将

Uchida Takamasa

コーチ

辻 大和

Tsuji Hirokazu

顧問

千葉 薫

Chiba Kaoru

総監督

佐藤 敏信

Sato Toshinobu

マネージャー

吉川 大和

Kikkawa Yamato

部長

水原 潤二

Mizuhara Junji

監督

熊本 剛

Kumamoto Takeshi

マネージャー

貝川 裕亮

Kaigawa Yusuke

女子バスケットボール部 / アンテロプス

ANTELOPES

FOR TEAM

戦績

	2014 - 2015	2015 - 2016	2016 - 2017	2017 - 2018	2018 - 2019	2019 - 2020	2020 - 2021	2021 - 2022	2022 - 2023	2023 - 2024
Wリーグ	4位	5位	準優勝	3位	2位 最終3位	2位 [*]	優勝	優勝	準優勝	ベスト8
皇后杯	3位	ベスト8	3位	3位	準優勝	3位	準優勝	ベスト8	ベスト4	ベスト8

※新型コロナ影響によりプレーオフ打ち切りでシーズン2位で終了

歴代オリンピック / W杯代表選手

FIBA ワールドカップ 2018	東京 2020		FIBA ワールドカップ 2022	パリ 2024
	5人制	3x3		5人制
水島沙紀 馬瓜エブリン	長岡萌映子 三好南穂 馬瓜エブリン	馬瓜ステファニー 山本麻衣	馬瓜ステファニー 山本麻衣 平下愛佳	山本麻衣

強化施設



バスケットボールコート



トレーニングルーム



高気圧酸素室



低炭水素トレーニング室



ケアルーム

INFORMATION

公式
WEB

①生年月日 ②身長 ③出身地 ④出身校 ⑤所属部署

HC ヘッドコーチ



大神 雄子
Oga Yuko

PG ポイントガード



1 古木 梨子
Furuki Riko
① 2001/5/3 ② 159cm
③ 神奈川県 ④ 東京医療保健大学
⑤ 販売基盤開発部



3 小野寺 佑奈
Onodera Yuuna
① 2002/3/24 ② 155cm
③ 北海道 ④ 日本体育大学
⑤ 国内事業部



7 横山 智那美
Yokoyama Chinami
① 2004/4/6 ② 173cm
③ 大阪府 ④ 桜花学園高等学校
⑤ お客様関連部



15 安間 志織
Yasuma Shiori
① 1994/7/22 ② 162cm
③ 沖縄県 ④ 拓殖大学
⑤ サービス部

SG シューティングガード



23 山本 麻衣 CAPTAIN
Yamamoto Mai
① 1999/10/23 ② 163cm
③ 広島県 ④ 桜花学園高等学校
⑤ 国内営業部



30 三浦 舞華
Miura Maika
① 2001/8/13 ② 168cm
③ 宮城県 ④ 白鷲大学
⑤ トヨタスポーツ推進部

SF スモールフォワード



8 金田 愛奈
Kaneda Mana
① 1998/7/9 ② 175cm
③ 大阪府 ④ 大阪人間科学大
⑤ 部品事業部



14 平下 愛佳
Hirashita Aika
① 2002/1/14 ② 177cm
③ 愛知県 ④ 桜花学園高等学校
⑤ サービスパーツ物流部

PF パワーフォワード



11 岡本 美優
Okamoto Miyuu
① 2001/4/23 ② 178cm
③ 北海道 ④ 東京医療保健大学
⑤ トヨタスポーツ推進部

C センター



25 桂 葵
Katsura Aoi
① 1992/9/2 ② 180cm
③ 東京都 ④ 桜花学園高等学校
⑤ 新事業推進部



42 田中 平和
Tanaka Ufouma
① 2002/2/10 ② 181cm
③ 埼玉県 ④ 白鷲大学
⑤ トヨタスポーツ推進部



**22 パレイ
ルセアネヘイラ
紀子**
Palei Luseane heilsala noriko
① 1999/3/22 ② 180cm
③ ニュージーランド
④ 東京医療保健大学
⑤ 財務部

顧問

伊村 隆博
Imura Takahiro

部長

知花 武彦
Chibana Takehiko

アドバイザー

清野 英二
Seino Eiji

総括

田邊 広子
Tanabe Hiroko

ヘッドコーチ

大神 雄子
Oga Yuko

アソシエイトヘッドコーチ

**イヴァン
トリノス**
Ivan Torinos

アシスタントコーチ

武津 祐太郎
Taketsu Yutaro

アシスタントコーチ

島田 裕文
Shimada Hirofumi

テクニカルスタッフ

千木良 知春
Chigira Chiharu

フィジカル
コンディショニング
ディレクター

伊藤 良彦
Ito Yoshihiko

フィジカル
コンディショニング
コーチ

藤井 翔太
Fujii Shota

チーフトレーナー

吉田 まどか
Yoshida Madoka

トレーナー

石山 静香
Ishiyama Shizuka

トレーナー

坂 実祐奈
Saka Miyuna

マネージャー

清水 愛莉
Shimizu Airi

マネージャー

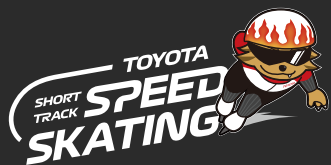
富岡 夏奈子
Tomiooka Kanako

サポートスタッフ

菊地 千花子
Kikuchi Chikako

チームドクター

野崎 正浩
Nozaki Masahiro



スケート部

UNLIMITED

より強く より大きく より輝く

歴代オリンピック代表選手

トリノ 2006	バンクーバー 2010	ソチ 2014
寺尾 悟	高御堂 雄三 伊藤 亜由子	高御堂 雄三 坂下 里士 伊藤 亜由子
平昌 2018	北京 2022	
横山 大希 伊藤 亜由子 菊池 純礼	吉永 一貴	

強化施設



中京大学アイスアリーナ（※ISU 規定マット設置）



チームルーム

INFORMATION



公式
WEB



① 生年月日 ② 身長 ③ 体重 ④ 出身地 ⑤ 出身校 ⑥ 所属部署

HC ヘッドコーチ

Skaters 選手



古屋 憲吾
Furuya Kengo



横山 大希
Yokoyama Hiroki

① 1994/2/18 ② 169cm ③ 62kg
④ 香川県 ⑤ 関西学院大学
⑥ 材料技術統括室



吉永 一貴 CAPTAIN
Yoshinaga Kazuki

① 1999/7/31 ② 173cm ③ 67kg
④ 愛知県 ⑤ 中京大学
⑥ モビリティビジネス業務部



平井 亜実
Hirai Ami

① 1997/8/2 ② 164cm ④ 愛知県
⑤ 中京大学 ⑥ 社会貢献推進部



渡邊 碧
Watanabe Aoi

① 1999/9/16 ② 157cm ④ 東京都
⑤ 武蔵野高等学校 ⑥ 車両技術開発部



林 伊吹
Hayashi Ibuki

① 2001/11/25 ② 170cm ③ 67kg
④ 長野県 ⑤ 地球環境高校
⑥ 車両技術開発部



中島 未莉
Nakashima mirei

① 2003/11/17 ② 163cm ④ 岡山県
⑤ 中京大学 ⑥ トヨタスポーツ推進部

顧問

菅原 政好
Sugawara Masayoshi

部長

榊 聡
Sakaki Satoru

アドバイザー

寺尾 悟
Terao Satoru

ヘッドコーチ

古屋 憲吾
Furuya Kengo

コーチ

坂爪 亮介
Sakazume Ryosuke

メンターコーチ

ジョナサン・ギルメット
Jonathan Guilmette

アスレティックトレーナー

大見 卓司
Omi Takuji

パフォーマンスコーチ

高谷 温子
Takatani Atsuko

ストレングスコーチ

丸山 孝治
Maruyama Koji

トレーナー

祖父江 伸司
Sobue Shinji





ビーチバレーボール部

愛されるチーム・愛される人

戦績

2018 ジャパンツアー	2019 世界選手権	2019 ジャパンツアー	東京 2020 オリンピック	2021 アジア選手権
年間チャンピオン	出場	年間チャンピオン	出場	銀メダル
石島雄介	石島雄介	白鳥勝浩・ 石島雄介ペア	白鳥勝浩・ 石島雄介ペア	溝江明香
2022 世界選手権	2022 ジャパンツアー	2023 アジア競技大会	2023 世界選手権	2023 ジャパンツアー
17位	年間チャンピオン	銀メダル	出場	年間チャンピオン
溝江明香	石島雄介 橋本涼加	溝江明香	溝江明香	石島雄介

強化施設



施設外観



アウトドアコート



インドアコート



トレーニングルーム

INFORMATION



公式
WEB



① 生年月日 ② 身長 ③ 体重 ④ 出身地 ⑤ 出身校 ⑥ 所属部署

GM ゼネラルマネージャー

Players 選手



川合 俊一
Kawai Shunichi



石島 雄介
Ishijima Yusuke

① 1984/1/9 ② 198cm ③ 100kg
④ 埼玉県 ⑤ 筑波大学
⑥ 衣浦工場誘導部



進藤 涼
Shindo Ryo

① 1994/5/28 ② 190cm ③ 84kg
④ 神奈川県 ⑤ 法政大学
⑥ 衣浦工場工場総括室



マルキ ナシム
Malki Nassim

① 1997/7/27 ② 194cm ③ 90kg
④ 埼玉県 ⑤ 鹿嶋義塾大学
⑥ 衣浦工場工場総括室



安達 龍一
Adachi Ryuichi

① 2000/8/7 ② 198cm ③ 98kg
④ 兵庫県 ⑤ 鹿嶋義塾大学
⑥ 生産本部人事室



水町 泰杜
Mizumachi Taito

① 2001/9/7 ② 181cm ③ 85kg
④ 熊本県 ⑤ 早稲田大学
⑥ 衣浦工場工場総括室



西堀 健実
Nishibori Takemi

① 1981/8/20 ② 171cm ④ 長野県
⑤ 古川商業高校(現・古川学園)
⑥ 衣浦工場品質管理部



橋本 涼加
Hashimoto Suzuka

① 1993/8/28 ② 182cm ④ 三重県
⑤ 早稲田大学大学院
⑥ 衣浦工場第1TM製造部



山田 紗也香
Yamada Sayaka

① 1999/6/8 ② 170cm ④ 神奈川県
⑤ 産業能率大学
⑥ 衣浦工場駆動H・EV製造技術部

顧問

鎌田 祐子
Kamata Yuko

部長

日橋 広和
Nishihashi Hirokazu

ゼネラルマネージャー

川合 俊一
Kawai Shunichi

コーチ

山本 知寿
Yamamoto Tomohisa

コーチ

青木 晋平
Aoki Shimpei

コーチ

尾崎 侯
Ozaki Ko

コーチ

村上 斉
Murakami Hitoshi

コーチ

山本 新大
Yamamoto Arata

理学療法士

岡村 幸枝
Okamura Sachie

ケアトレーナー

廣 裕介
Hiro Yusuke

ケアトレーナー

堀口 大樹
Horiguchi Daiki

ストレングストレーナー

福田 健人
Fukuda Kento

マネージャー

犬塚 由美
Inuzuka Yumi

マネージャー

山下 佳名子
Yamashita Kanako

採用

濱口 純一
Hamaguchi Junichi



TOP ATHLETES

前人未到への戦い 世界の舞台へ挑み続ける挑戦者たち

戦績

夏季オリンピック

ロンドン 2012	リオデジャネイロ 2016	東京 2020	パリ 2024
山本聖途 (棒高跳) 榊原春奈 (ボート)	山本聖途 (棒高跳) 渡辺一平 (競泳)	川本武史 (競泳) 山本聖途 (棒高跳)	渡辺一平 (競泳)
	山中美緒 (7人制ラグビー) 杉本早裕吏 (新体操)	武藤弘樹 (アーチェリー:団体 3位) 山中美緒 (7人制ラグビー)	杉本早裕吏 (新体操) 竹中七海 (新体操)

冬季オリンピック

平昌 2018	北京 2022
宇野昌磨 (フィギュアスケート:2位) 堀島行真 (フリースタイルスキー)	宇野昌磨 (フィギュアスケート:個人 3位、団体 3位) 堀島行真 (フリースタイルスキー:モーグル 3位)

INFORMATION

公式
WEB

①生年月日 ②身長 ③体重 ④出身地 ⑤出身校 ⑥所属部署

陸上 棒高跳



山本 聖途 Yamamoto Seito
 ①1992/3/11 ②181cm ③73kg ④愛知県 ⑤中京大学 ⑥トヨタスポーツ推進部

陸上 円盤投



湯上 剛輝 Yugami Masateru
 ①1993/4/14 ②183cm ③107kg ④滋賀県 ⑤中京大学 ⑥パワートレーン統括部

女子7人制ラグビー



山中 美緒 Yamanaka Mio
 ①1995/10/27 ②157cm ③大阪府 ④立正大学 ⑤社会貢献推進部

競泳 平泳ぎ



渡辺 一平 Watanabe Ipppei
 ①1997/3/18 ②193cm ③87kg ④大分県 ⑤早稲田大学 ⑥営業業務部

女子ローイング



米川 志保 Yonekawa Shiho
 ①1996/8/20 ②179cm ④愛知県 ⑤早稲田大学 ⑥MS統括部

フリースタイルスキー モーグル



堀島 行真 Horishima Ikuma
 ①1997/12/11 ②170cm ③63kg ④岐阜県 ⑤中京大学 ⑥営業業務部

アーチェリー



武藤 弘樹 Muto Hiroki
 ①1997/6/26 ②175cm ③82kg ④愛知県 ⑤慶應義塾大学 ⑥レクサスブランディング推進部

フィギュアスケート



紀平 梨花 Kihira Rika
 ①2002/7/21 ②155cm ④兵庫県 ⑤早稲田大学 ⑥トヨタスポーツ推進部

TOP PARA ATHLETES

前人未到への戦い 世界の舞台へ挑み続ける挑戦者たち

戦績

夏季パラリンピック

リオデジャネイロ 2016	東京 2020	パリ 2024
佐藤圭太 (陸上 短距離: 4x100mR 3位) (車いすテニス) 三木拓也 (陸上 走幅跳: 4x100mR 3位)	鈴木 朋樹 (車いす陸上: ユニバーサルリレー 3位) (車いす陸上) 村岡 桃佳 (車いす陸上) 三木 拓也 (車いすテニス) 石田 駆 (陸上 短距離)	三木拓也 (車いすテニス: グアルス 2位) (車いす陸上: マラソン 3位) 鈴木朋樹 (車いす陸上: マラソン 3位) 高橋峻也 (陸上 やり投)

冬季パラリンピック

トリノ 2006	バンクーバー 2010	ソチ 2014
森井大輝 (アルペンスキー: 大回転 2位)	森井大輝 (アルペンスキー: 滑降 2位、スーパー大回転 3位)	森井大輝 (アルペンスキー: スーパー大回転 2位) 村岡桃佳 (アルペンスキー)

平昌 2018	北京 2022
森井大輝 (アルペンスキー: 滑降 2位) 村岡桃佳 (アルペンスキー: 大回転 1位、滑降・回転 2位、スーパー大回転・スーパーコンビ 3位)	森井大輝 (アルペンスキー: 滑降 3位、スーパー大回転 3位) 村岡桃佳 (アルペンスキー: 滑降 1位、スーパー大回転 1位、スーパー複合 2位、大回転 1位)

INFORMATION

公式
WEB

①生年月日 ②身長 ③体重 ④出身地 ⑤出身校 ⑥所属部署

車いすテニス



三木 拓也

Miki Takuya

①1989/4/30 ②173cm ③65kg ④島根県 ⑤島根県立出雲高等学校 ⑥トヨタスポーツ推進部

パラ陸上 中・長距離



鈴木 朋樹

Suzuki Tomoki

①1994/6/14 ②167cm ③59kg ④千葉県 ⑤城西国際大学 ⑥社会貢献推進部

パラ陸上 やり投



高橋 峻也

Takahashi Shunya

①1998/7/2 ②167cm ③76kg ④鳥取県 ⑤日本福祉大学 ⑥車両工務部

パラ陸上 短距離



石田 駆

Ishida Kakeru

①1999/4/6 ②177cm ③57.5kg ④岐阜県 ⑤愛知学院大学 ⑥グローバル生産推進センター人財育成室

パラ陸上 / パラアルペンスキー



村岡 桃佳

Muraoka Momoka

①1997/3/3 ④埼玉県 ⑤早稲田大学 ⑥国内事業部

パラアルペンスキー



森井 大輝

Mori Taiki

①1980/7/9 ②171cm ③70kg ④東京都 ⑤都立あきる野学園養護学校 ⑥渉外部





競泳／平泳ぎ

渡辺一平

1997年3月18日、大分県生まれ。早稲田大学2年時(当時19歳)にリオデジャネイロオリンピックに出場。男子200m平泳ぎ・準決勝でオリンピックレコードをマーク、決勝では6位入賞を果たした。2017年の東京都選手権水泳競技大会・男子200m平泳ぎ決勝では2分6秒67という当時の世界記録を樹立。トヨタへ入社し臨んだ東京オリンピック代表選考会では、あと一步のところまで惜しくも落選。以降故障なども経て、2023年世界水泳福岡大会にて4年ぶりの代表復帰を果たした。

「過去の自分を超えたい」 東京の悔しさを糧に挑む世界一

一 水泳との出会い

小学生の時に両親に連れられプールに行ったのが水泳との最初の出会いです。自らやりたいと思うようになったのは水泳を習っていた親戚のお兄さんの影響が大きかったです。ただ当時は厳しい練習に毎日泣きながら泳いでいたのを今でも覚えています。

記録が伸びたのは高校に入ってからで、ジュニアオリンピックの100m・200m平泳ぎで2冠、ユースオリンピックでも優勝することができ、そこからありがたいことに複数の大学に声をかけていただいて、早稲田大学への進学を決めました。

一 オリンピックを意識した大学1年の冬

リオオリンピック選考会目前の大学1年の冬に出場した大会で自己ベストを大幅に更新し、そこで「もっと世界にチャレンジしたい」と思うようになりました。それまで自分は日本選手権で5位6位の選手でしたが、その大会で当時日本の平泳ぎのトップだった小関也朱篤さんや北島康介さんとの決勝になり、100mは2位の北島さんとタッチ差で3位、200mでは優勝することができ「自分もオリンピックにいけるかも」と世界を意識するきっかけになりました。

一 立てなかった東京2020の舞台

オリンピックレコードを出しながらメダルを逃したりリオ大会で自分の甘さを痛感し、東京大会までの期間はとにかくストイックになっていました。友人との食事もしフレッシュのためのドライブも、競技以外の全ての欲を抑え込むことが勝つために必要なだと自分に言い聞かせていました。ただ今考えると、その姿勢が水泳を「きつい」「しんどい」ものにしてしまい、結果的に代表落ちの要因になったと思っています。

一 自分を責め続けた日々

多くの期待を受けながら代表落ちし、そこからは「自分は幸せになってはいけない」とずっと塞ぎ込んでいました。期待を裏切った自分はおいしいものを食べたり、お腹を満たすことさえ許されないと。そんな生活の中で両親から「大分に帰ってこい」と連絡があり、休暇をいただくことになりました。約1ヶ月ほどの帰省でしたが、そこで接した昔の友人や地元の人たちが本当に温かくて、自分の居場所はここにあったなと思い出させて

くれたんです。特に実家に帰ってすぐ母が「よく頑張った」と言いながらハグしてくれて。これまでの人生で一番心に染みたま言葉でした。そこから少しずつですが、また前を向けるようになりました。

一 大事なものは誰よりも競技を愛していること

東京2020以前はアスリートにとって一番大事なものは我慢することだと思っていました。

でも今は全くそう思わなくて、アスリートというのはその競技を一番愛さなければいけない存在だと思うんです。常に「世界一に値する練習だったか」と自問自答していた昔のやり方は、練習にバツをつける回数が多くなり、心から水泳を楽しめていませんでした。競泳の平泳ぎという種目が一番好きで、一番楽しく競技をやっていること。その中で昨日の自分より強くなったという経験を積み重ねることを今は大事にしています。

一 いつも背中を押してくれる従業員の方々の応援

トヨタに所属する現在、学生時代では考えられないほど多くの方の支えがあって競技ができています。常にその責任と期待してくれる会社の方の思いを胸に水泳に取り組んでいます。印象深いのは去年コロナ明け、久々の有観客試合での部署の方々の声援ですね。僕の元上司は誰よりも大きな声で名前を呼んでくれるんです(笑)。そこで改めて皆さんの声援が自分のパワーになっていることを実感しました。

一 パリ2024への思い

オリンピックは僕にとって特別な場所で、アテネで見た憧れの北島さんの勇姿、リオで悔しさを味わい東京では出場さえ叶わなかった自分、やっぱりオリンピックにもう一度出たいです。その上で今一番考えているのは「過去の自分を超えたい」ということ。自己ベストを更新すれば恐らく代表にも入りますし、その先の日本記録更新も見えてくる。

現在、平泳ぎの世界一に最も近い日本人は自分だと思っています。そう思っている間はずっと世界一を目指しますし、競泳を誰よりも愛し、誰よりも楽しく競技に向き合う自分の姿をたくさんの人に見てもらいたいと思っています。

パラ陸上／砲丸投 タイロン・プレ



1980年5月1日、南アフリカ・ダーバン生まれ。左膝下の先天性欠損症により義足を使用。2011年の南アフリカ選手権からパラアスリート（砲丸投げ・F63）として活動。東京2020大会後、2023年からこれまで勤めていたTSAM*からTME*に拠点を移し、現在はモビリティ・プロジェクトリーダーとしてフルタイムで働きながらトップアスリートとしてトレーニングしている。

*TSAM=Toyota South Africa Motors (Pty) Ltd. (所在地：南アフリカ) *TME=Toyota Motor Europe S.A./N.V. (所在地：ベルギー)

「信じれば何事も成し遂げられる」 アスリート人生の集大成 いざパリへ

一 東京2020を振り返って

コロナ禍で開催された東京2020はいろいろな意味でこれまでにない厳しい大会でした。そして、試合は更に過酷でした。雨が降り続く中で義足をコントロールできず、試合前の怪我もあって結果は8位に終わりました。悔しさの残る大会でしたが、私たちを迎えてくれたボランティアのみなさんの優しさは忘れられません。アウェーで満足な応援を得られない私たちに元気づけてくれて、おかげで東京での体験は素晴らしいものになりました。トヨタタイムズスポーツの企画で行われたインスタライブも楽しかったです。私がGTTA*の一員であることを喜んでくれているのは本当にうれしかったです。ただ、みんな私にとってもアグレッシブなイメージを持っているようでした。私にだって優しくして冗談ばかり言うような一面があることも知ってもらいたいです(笑)。

一 トヨタは私のDNA そのもの

私の祖母はトヨタで働いていました。だから子どもの頃は、車でオフィスの前を通るたび「いつかあそこで働くんだ」と言っていましたよ。今それが現実になって、私は世界最高の企業のひとつであるトヨタ、人々の生き方を変えようとしているトヨタで働いているという事実を誇らしく思います。そして私たちみんなが1つの大きな家族だということも信じています。私にはTMEだTSAMだという違いはなくて、「トヨタはトヨタ」なんです。トヨタはもう私のDNAであり人生の一部で、試合に臨むときも社員一人一人を代表しているつもりで戦っています。

私がリオ大会に出場したときに豊田章男会長がメールをくれたことを、今も憶えています。彼は私に「35万人の仲間が君を応援しているよ」と言ってくれました。それが私の日々のモチベーションになっています。そしてTMEのみんなの私への接し方も、メッセージをくれることも、モチベーションを高めてくれます。そのおかげで、一つ一つの試合にベストを尽くすことができるのです。

一 TMEでの新たな出発

東京大会の後、ベルギー・ブラッセルに拠点を移しました。私はパラリンピックとトヨタは「人々の生き方を変えようとしている」という点で同じゴールを目指していると思っています。トヨタがモビリティ・プロバイダとして参加するパリ大会は、私たちにとってもトヨタにとっても特別な場になります。だから、パリ大会をできる限り最高の大会にするために、自分にできることは何でも貢

献したいという思いで、開催地パリと同じ欧州の拠点であるTMEの一員になったのです。自分が持っているオリンピックやパラリンピックに関する知識を運営に関わる人たちに共有したいと思っています。

一 “トヨタメイド”の義足

2023年7月の世界選手権の前に義足を壊してしまいました。ベルギーでは助けを求められる人もおらず途方に暮れていたなら、TMEの技術開発チームとGazooレーシングが私のために義足を作ってくれたんです。“トヨタメイド”の義足ですよ！アスリートとしてだけでなく、従業員としても本当に感激しました。

この義足はトヨタの従業員みんなにとって会社がしていることを知るきっかけになると同時に、トヨタがモビリティ分野でもっとたくさんの人を助けることができる、という証でもあると思うのです。私のアスリート人生の最後に、トヨタの仲間が作ってくれた義足を履いて競技に臨めることを心から誇りに思います。

一 パリ2024 最後の大舞台を目指して

私にとってパリ大会への最大のモチベーションは、これが最後の試合になるということです。本当は東京大会で素晴らしい結果を出して、トヨタのみんなが見てくれている中で引退したかったのですが、残念ながらそうはなりません。だからパリでは東京の悔しさを取り返したい。パリ大会は、私には特別な意味があるのです。トヨタのみんなを代表して堂々と戦い、最高の形で終わりたいと思っています。

「最高の形」とは何か、うまく言えませんが、たぶん「メダルを獲ること」ではなく、みんなが誇らしく思えるような何か、だと思っています。人生において大切なのは、「自分が歩んできたあとに何を残すか」ということだと思ふんです。アスリートとしての14年間で成し遂げたことはもちろん、一人の人間としての私を誇りに思ってもらいたい。自分を信じれば何事も成し遂げられるということを見てもらいたいと思っています。

*GTTA・・・Global Team Toyota Athlete

トヨタの看板を背負って、国際大会や国内トップレベルの舞台で戦うスポーツアスリート全世界で1,000名以上が活躍(2024年2月現在)

アスリート支援の取り組み

パラスポーツ用具開発

クルマづくりで培った設計・解析技術を活かし、パラスポーツの用具開発にも取り組むトヨタ。世界で戦うトップアスリートをサポートしたいという高い志をもった技術者が集まり、アスリートの0.1ミリ単位の細かなオーダーに寄り添いながら、パートナー企業と共に研究・開発をおこなっている。

アスリートが「もっといいクルマづくり」へ

JAPAN MOBILITY SHOW 2023で公開された最新技術「NEOsteer（ネオステア）」。

足を使わずハンドルを握った手の操作だけで運転を可能にするこの技術は、自身も車いすユーザーであるパラアルペンスキーマの森井大輝がアドバイザーとして開発に携わった。



車いすレーサー開発



パラ陸上 鈴木朋樹



車いすテニスシート開発



車いすテニス 三木拓也



チェアスキー開発

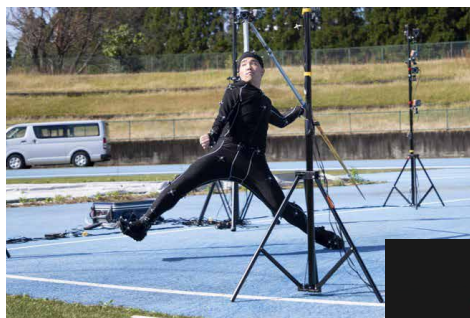


パラアルペンスキー 森井大輝

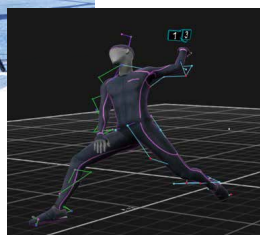
スポーツ動作解析

車両開発技術がアスリートのパフォーマンス向上をサポート。

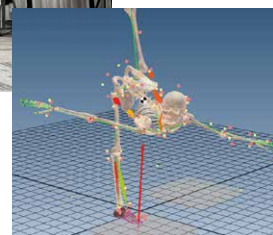
モーションキャプチャー解析でフォームの細部まで分析し、動作を見える化。



パラ陸上 やり投



新体操



リコンディショニングセンター

ケガの予防、ケガからの早期復帰

身体の不調やケガに悩むアスリートを各運動部のトレーナーと連携しサポートする施設として、2018年4月に開設。センター長を務める岡戸氏を中心にチームトレーナーと密に連携しながらアスリートの状態を詳細に把握。またアスリートの身体機能を数値化し蓄積することで、個々の競技特性に合わせた根本的な解決策を提案。ケガの回復だけでなく、ケガの発生前よりもパフォーマンスを向上させた状態で復帰させる役割を担っている。



リコンディショニングセンター センター長 岡戸敦男氏

トヨタタイムズスポーツ 週イチLIVE

トヨタスポーツの魅力を発信するLIVE配信番組

毎週金曜日午前11時50分からYouTubeにて生放送中。
アスリートの挑戦する姿や闘いの舞台裏に密着取材。
週イチLIVEを観て一緒にトヨタアスリートを応援しよう! One Toyota!

トヨタタイムズ
スポーツ



運動部、個人アスリート、
プロチームの垣根を超えて
ここでしか見られない
トヨタスポーツの魅力が満載!



森田キャスターがスタジオからお届け



海外遠征/留学プログラム



チーム力強化を目的に組まれる海外遠征（硬式野球部・女子ソフトボール部）では、現地トップチームとのオープン戦や強化練習を通して、オフシーズン期間の競技力向上はもちろん、海外の高いレベルに触れることで選手個々の視座を高め、更なる競技意欲向上に繋がっている。また、ラグビー部では若手選手を中心に現地リーグでの出場機会を通じた強化・育成のほか、コミュニケーション能力・自主性の向上といった人間的成長を目的に留学プログラムを展開。

こうした運動部の海外訪問時には現地事業体や販売店とも密に連携しており、滞在期間中のモビリティ支援やオフィス訪問などトヨタらしいグローバルな繋がりも生まれている。

チーム/アスリート間交流



複数の運動部を有し、国内トップレベルのアスリートおよびスタッフが数多く在籍するトヨタでは、その強みを活かし各運動部間で合同トレーニングを実施。また、スタッフ間でもリーダーシップやチームマネジメントに関するメソッド共有、情報交換が行われている。こうした互いの競技の体験や知見の共有を通じてコミュニケーションを深めながら、相乗効果による競技力向上に繋がっている。

次世代・地域社会・職場への取り組み

スポーツアカデミー



豊田市、中京大学と産官学連携のもと実施する「豊田スポーツアカデミー」。現役アスリートやOBOGが指導者となって技術力向上や人間的成長、競技普及を目的にしたプログラムを実施。2023年からは「RED TERRIERS SOFTBALL ACADEMY」が開校。未来の日本代表、国際社会で活躍する人材の育成を目指す。

JFAこころのプロジェクト MIRAIへつなぐ『夢の教室』in 豊田



日本サッカー協会が2007年から全国で実施するプロジェクト。2015年に全国初となる産官学連携※による「夢の教室」を豊田市でスタート。

アスリートは夢先生として小学校を訪問し、夢を持つことの素晴らしさや助け合いの精神を伝えている。

※日本サッカー協会・豊田市・中京大学・トヨタ自動車

地域貢献・SDGs活動



トヨタアスリートは競技活動以外にもスポーツを通じた地域貢献活動やSDGs活動を積極的に実施。スポーツクリニックや体験会、地元自治体と連携した清掃活動など活動は多岐にわたる。2022年には女子ソフトボール部が豊田市と連携し「性的マイノリティの方々への理解促進」を目的にした取り組み「レインボーマッチ」を開催。この取り組みはLGBTQ+への理解活動として評価されPRIDE指標2022「ベストプラクティス」を受賞。

今後もこうした活動を更に加速させ、地域社会との繋がりを深めていく。

パラスポーツ体験



パラスポーツの普及・認知向上を目的に競技用スポーツ義足や車いすバスケットボール、ボッチャなどの体験会を開催。競技の魅力訴求のほか、パラスポーツ体験を通して共生社会実現に向けた多様性への理解促進を図っている。

職場/従業員との繋がり



企業スポーツの重要な役割のひとつが社内での一体感醸成。その取り組みとして、各アスリートはインナーを対象にしたスポーツ体験会や交流イベントを実施。また、従業員の子ども向けに開催した「TOYOTA SPORTS SUMMER CAMP」では、世界で活躍するトップアスリートが身体を動かすことの楽しさやチャレンジすることの大切さ、多様性について考える特別プログラムを実施。アスリートたちは高みを目指し挑戦し続ける姿を示すことはもちろん、従業員やその家族との直接的な交流を通してスポーツの力を伝えている。

“ONE TOYOTA”で一丸となって戦う



トヨタタイムズスポーツ
総合サイト



トヨタスポーツ
ファンクラブ



「トヨタアスリートのチカラ」
(YouTube映像)

